

事業所名

放課後等デイサービスCOCORO宇治小倉教室

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

1月

7日

法人（事業所）理念		◆mission: 名言は偉人だけが生むものではありません。全ての人々が自分の名言を生み出せるよう挑戦していこう。 ◆value : 得意な才を発見し伸ばして社会に輩出していこう。 ◆vision: 福祉事業を人気で楽しい業界へ。仕事は遊びの延長と楽しめる社会へ。				
支援方針		◆1つずつできることを増やしていこう。 ◆遊びを通じて心を育てる。				
営業時間		10時	0分	18時	0分	送迎実施の有無 あり
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	◆“時計”を活用し見通しを持った行動『気持ちの切替』ができるようにする ◆ランドセルの扱い、衣服・帽子の着脱、食前の手洗い、トイレなどを『1人』でできるようにする ◆十分に身体を動かせるよう外に行く機会を定期的に設け『環境の変化』に慣れるようにする ◆お弁当持参の日は、指導員や友達など『皆とテーブルを囲む』ことを楽しみに食事をしてもらう				
	運動・感覚	◆トランポリン、ブランコを用いた感覚統合で体幹を鍛え『姿勢が保てる』よう企画する ◆サーキットづくりによる障害物競走での『空間や距離、時間』の感覚を鍛える ◆かいたり、塗ったり、つくったり、飾ったりする過程で、色・形・手触りを把握し“うわー！綺麗！”と『感じてもらう心』を育てる				
	認知・行動	◆お買い物ごっこを取り入れて、子どもたちが“買い手”と“売り手”に別れ、『お金の数え方』に関心を持てるようにし社会参加を育む ◆文字の“書き順”などに興味をもってもらい、『綺麗に丁寧に』かくことを覚えてもらう ◆工作を通じて、物を大切に。大事なものは『両手で受け取れる』ようになる ◆使ったものを『元の場所』に戻すことを習慣化にする				
	言語 コミュニケーション	◆指導員や友達との“ご挨拶”や“お辞儀”に興味や関心を持ち、『自分から』できるようにする ◆工作の道具や、玩具を使うときに、“貸してください”や“ありがとうございました”と相手との『円滑な言葉』のやりとりを習慣化できるようにする ◆したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする時、『相手の顔を見て』できるようにする ◆“説明するイベント”“司会担当”を設けて、自分の言葉で相手に理解してもらえる機会づくり				
	人間関係 社会性	◆日常生活で友達のよさに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう。 ◆イベント、工作を通じて『共通の目的』を見だし、工夫したり、協力し、『友達や輪の中に入る作法』を身に着ける ◆“帰りの会”で『良かったこと・良くなかったこと』を振り返り、皆で気づきの時間を設ける。 ◆自分の思い通りにできなくても相手への“思いやり”をもてるように、『本人の気持ち』に向き合う時間を作る ◆物が壊れた・壊してしまったときなど、“ルールや決まり”の大切さに気付いて貰えるよう自分たちで“ルール作り”を考える機会を作る				
家族支援		◆ご利用後にご家族にその日の様子等をフィードバック ◆ご家族の心配事や困り事に寄り添い、相談を受けたり助言を行います ◆日常の情報共有で足りない場合は1時間以上のご面談日を設けています		移行支援		◆将来の就業を視野にいれ、山城地区に拠点を置かれている企業様の支援の元、お仕事体験に力をいれています ※見学ではなく体験に拘っております ※これまでスーパー、コンビニ、宿泊施設にご協力いただいております
地域支援・地域連携		◆市・社会福祉協議会と一緒に“西小倉のスタンプラリー”に共催・参加し初めての場所でも子どもたちが挨拶できる機会を作っている ◆宇治市健康づくり・食育アライアンス“おぐらばんごはん会”へ参加し保護者との交流を促進。 ◆宇治市まちのリビング促進事業“おぐらのおうち”へ参加し同世代だけでなく子どもたちが高齢者とも関わる機会を作っている		職員の質の向上		◆グループ内の研修 ◆お仕事体験での企業様との交流 ◆自治体の活動に参加し企画検討
主な行事等		◆年中行事：桜のお花見、七夕で文字練習、夏の水遊び、近隣へのハロウィン挨拶、Xmas会、年賀状作り、節分、お雛様工作 ◆日 常：宿題、宇治北組VS宇治南組によるお掃除競争、帰りの挨拶の会				